（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	関わり人口創出のための奈川ツーリズム育成事業
事業主体 （連絡先）	一般社団法人松本市アルプス山岳郷 0263-94-2221／office@alps-kanko.jp
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大（ア 特色ある観光地づくり）
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,123,730 円（うち支援金：1,886,000 円）

事 業 内 容

●奈川における“農体験”・“野麦トレイル”・“食”の 3 つのテーマでコンテンツ開発および関係者検討会を実施（計 3 回）。
●ランスルーツアー（関係者における下見ツアー）実施
●見据えたターゲット層参加のモニターツアーを実施。モニターツアーアンケートを通じたブラッシュアップ。
●セールスのためのコンテンツタリフの作成。
●WEB サイト/SNS およびプレスリリースによる情報発信を実施。

【野麦トレイルモニターの様子】

【目標・ねらい】

① 新規ツアーの造成
② 地域関係者の巻き込み
③ ツアー評価（モニターツアー）
④ 地域 PR

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

●奈川地区における個別コンテンツ造成数：（当初目標）3 本⇒（事業完了時）3 本
●ランスルーツアー参加者：（当初目標）15 名（3 コンテンツ×5 名）⇒（事業完了時）25 名
●モニターツアー参加者：（当初目標）5 名⇒（事業完了時）28 名

※自己評価【A】

【理由】
ツアー造成数 3 本の中で、地域住民 3 名のツアー実施理解・協力を得られたこと。さらにモニターツアーを当初予定人数から大幅に上振れした申し込みをいただき、ツアー内容への期待感が想定より高かったこと

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

令和 7 年度以降、今年度開発したツアーの「実売」に繋げながら、ツアー実施に対して更なる地域住民・関係者の巻き込みを推進していくことで“奈川ツーリズム”を稼げる観光コンテンツとして自立化させていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある